

モニタリング結果報告書

施設名 : 三ツ池公園

指定管理者 : 横浜緑地・西武造園・協栄グループ

施設所管課(事務所名) : 横浜川崎治水事務所

(平成21年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月11日	11月30日	月例報告、現地確認等
11月	12月10日	12月28日	月例報告、現地確認等
12月	1月12日	1月29日	月例報告、現地確認等
1月	2月10日	3月2日	月例報告、現地確認等
2月	3月10日	3月30日	月例報告、現地確認等
3月	4月12日	4月30日	月例報告、現地確認等

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

貴重な水・みどり・スポーツ・レクリエーションを提供すると共に、地域活動を受入れ、先人の英知と努力を理解して、より質の高いサービスを提供して、三ツ池公園を次世代に継ぐ管理運営を行います。

- 計画的な「サクラ更新」を実践します。
- 平等・公平な公園利用促進を実践
- 三ツ池の水質改善を検討します。
- ユニバーサルサービスの提供を促進
- 多様な「地域交流」拠点づくり
- 水ぎわの安全と親水性の確保
- 水・みどりの自然環境拠点づくり
- 地域と連携した防犯対策
- 魅力的な野外活動
- 生物多様性確保の取り組みを実践
- 安全・安心・快適な公園づくり
- 利用者や地域住民との情報交流を図る

<実施状況>

野球場・プールを始めとしたスポーツ施設や桜の適切な維持管理を実施した。

その他、道路や住宅隣接地の除草や剪定、遊具の安全点検、水の広場の清掃など公園利用者や周辺住民への安全、安心に配慮した維持管理に努めた。

利用促進として数多くのイベントを実施、ボランティアとの協働イベント等公園の魅力アップイベント等を通じ公園利用の拡大・促進を行った。

生物多様性確保の取組として、ホテルの幼虫の放流、ボランティアとの協働による外来魚防除、観察会、水質調査等を実施した。

正門・北門駐車場のスムーズな利用を図るため、機械式の導入を行った。その結果、多かった駐車場職員の対応に関する苦情が無くなった。

3 収支状況

(単位：千円)

	収 入 額				支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)			
年間予算額	117,162	71,715	11,460	33,987	117,162	0
上半期計 (a)	72,152	40,125	8,749	23,278	66,433	5,719
下半期計 (b)	48,509	31,590	3,624	13,295	55,961	△ 7,452
10月	9,359	5,580	803	2,976	7,895	1,464
11月	8,570	5,428	613	2,529	9,610	△ 1,040
12月	7,309	5,640	510	1,159	6,223	1,086
1月	6,806	4,830	524	1,452	8,008	△ 1,202
2月	6,253	4,762	512	979	7,881	△ 1,628
3月	10,212	5,350	662	4,200	16,344	△ 6,132
合計 (a+b)	120,661	71,715	12,373	36,573	122,394	△ 1,733

- 1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

利用料金収入の実績は、計画に対して108.0%と計画を上まわった。駐車場収入の実績は、計画に対して107.6%と計画を上まわった。収入計の実績は、計画に対して103.0% 3,498,960円と計画を上まわった。支出計の実績は、当初計画に対して103.8% 4,486,174円上まわった。収支差については △1,733,214円となり、収入の実績を支出実績が上まわり持ち出しとなったものである。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況	特になし	

- 収入の状況: 定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況: 車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況: 積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	1,017,566人	698,663人	45.6%
下半期計 (b)	451,466人	499,274人	△9.6%
10月	61,054人	78,517人	△22.2%
11月	57,599人	56,093人	2.7%
12月	43,117人	35,767人	20.5%
1月	42,908人	34,162人	25.6%
2月	32,623人	42,968人	△24.1%
3月	214,165人	251,767人	△14.9%
合計(a+b)	1,469,032人	1,197,937人	22.6%

利用状況に関する意見等

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕

〔 上半期は天候にも恵まれ、不況下の社会情勢の中で近場の公園利用が増加したものと思われる。なお下半期は天候に恵まれず思った以上に利用者数は伸びなかった。 〕

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月	1					1
11月		3				3
12月	1					1
1月				1		1
2月	1			1		2
3月						0

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月		1	1
11月			
12月			
1月		1	1
2月			
3月		2	2

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・使用中止の遊具を早期改修	県の見解を回答
	・	
職員対応	・駐車場職員の態度が横柄、言葉遣いが乱暴	応対に注意するよう指導
	・駐車場職員の応対が悪い。	応対に注意するよう指導
事業内容	・駐車場の料金改定・環境への取組等	県の見解を回答
	・	
その他	・管理車両・工事車両が園内をスピードを出して走行	職員・請負者に注意するよう指導

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	特になし
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		特になし	
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	駐車場のスムーズな利用を図るため、正門・北門駐車場に機械式の導入を行った。その結果、多かった駐車場職員の対応に関する苦情が無くなった。生物多様性確保の取組として、ボランティアとの協働による外来魚防除をメインとして実施しているが、今後は新たな取組も積極的に実施する予定である。ボランティアとの協働イベント等公園の魅力アップイベント等を通じ公園利用の拡大・促進を行った。
施設所管課	花見シーズンの駐車場管理では、場内の交通整理や公園周辺道路にも人員を配置し、交通混雑、渋滞緩和への対策を行った。夜間の公園管理についても周辺中学校との連携等を積極的に図り、施設への悪戯防止や防犯対策を行った。ボランティアとの協働イベントを積極的に活用し、公園の利用促進を図った。公園利用者へのサービス向上を図る上で、接客対応等の向上を目指す必要がある。